

第1797号

2016年5月22日

日本共産党根室市議団

根室市宝林町4-203

TEL 23-6023

FAX 24-1684

## 根室市議会 5月緊急議会開かれる

5月13日(金) 根室市議会5月緊急議会が開催され、根室市国民健康保険条例の一部改正、公平委員会委員の選任などが審議されました。上程された議案はすべて全会一致で可決されました。

市国保税の一部改正について

地方税法施行令等が一部改正されたことに伴い、国民健康保険税の課税限度額が引き上げられたことから、根室市も同様に限度額を引き上げるものです。

これまでの限度額は、基礎課税額(医療給付費分)52万円、後期高齢者支援金等課税額17万円でしたが、それぞれ2万円引き上げて、変更のなかった介護給付金課税額16万円と合わせて、計85万円から89万円に引きあがることとなります。市の試算によると、国保加入世帯の7.7%、350世帯が負担増となります。

質疑に立った橋本竜一議員は、限度額の引き上げについて、平成21年度

69万円だったのが今回の改定で89万円、7年で20万円も引き上げられることを確認。市の国保加入者

には漁業者をはじめとする第一次産業従事者が多いことから、世帯員数の多い世帯にとっては、高額収入がすなわち「生活が裕福」とは言えないと指摘。こうした状況を踏まえ、今回の引き上げを判断した理由を問いました。

市は、平成21年度以降、特別調整金への影響や収支不足が見込まれることから、引き上げせざるを得ない状況にあったと説明。

市の国保会計は、平成27年度で1億円を超える赤字となり、一般会計からの繰り入れで収支均衡をはかっています。橋本議員は、今後の国保会計の見通しを質しましたが、少子高齢化や人口減、医療の高度化などで、より一層きびしい

会計運営になるとの見通しが示されました。橋本議員は「今後も赤字が続くならば、国保税率の引き上げが検討課題となる」と述べ、国や道の交付減を保険税率の引き上げで補てんすることに道理はなく、国・道がしっかりと責任を果たさなければならぬと厳しく指摘したうえで、「今の市中経済の状況などを考慮した場合、税率の安易な引き上げは加入者の生活に与える影響が大き

く、収納率の低下や、受診抑制から来る健康悪化にもつながる。一般会計からの繰り入れも視野に入れるとともに、健康増進の取り組みが重要になるのでは」と述べ、市の見解を求めました。

市は、赤字対策として、(一般会計からの繰り入れも含めて)状況に応じて判断すると答えました。また、医療費の伸びが見込まれるなかで、「健康増進計画」をしっかりと推進し、結果として保険給付費を減らしていきたいと述べました。

市田忠義ホームページ「市ちゃんの徒然なるままに」より



市田 忠義 日本共産党副委員長・参議院議員

根室市演説会 2016年5月15日

演説会は、会場いっぱい350人の聴衆で埋め尽くされた。根室の人口は、2万7千人だから、すごい集まりだ。釧路からもバス2台で3時間かけて参加してくれた。



千島問題、サケマス漁をめぐる日露漁業交渉についても時間をさいて話した。間の手や拍手の多い活気のある演説会だった。

根室で演説するのは初めて。党の三役が行くことはめったにない。

帰りは釧路空港からの直行便。演説会でご挨拶いただいたねむろ「9条の会」の細川憲了さんが住職を務める清隆寺の千島桜を見てから3時間、車に揺られて釧路空港へ。広大な牧草地帯や、湿原のなかの農道をひた走る。途中、鹿やキタキツネの歓迎も。

1時間の演説に往復10時間。でも初めて行くところは、雰囲気も温かいし、反応もいい。爽快な気分が羽田についたのは9時。

さあこれから、感想、アンケートを読みながら晩御飯と晩酌。至福の時だ。